

介護のおしごと

～人生に寄り添い、前向きになるサポートを～

嬉しい瞬間・やりがい

不意打ちのありがとうがすごく心に響く。ありがとうのためにやっているわけではなく、「来てくれて嬉しい」、「会えると安心する」と言ってもらえると嬉しくなります(中田)

「ここに来て良かった」、「今日ご飯がおいしかったよ」と言ってもらえるとやりがいを感じます。うれし涙を浮かべてお礼を言ってもらえる仕事ってなかなかない(長谷川)

やっぱりお礼を言われると嬉しい。言葉じゃなくても、以前より面と向かって話せるようになったり、前向きな変化を感じられたときも、良かった、って思います(安井)

支援していくなかで、利用者さんの不安が安心に変わり、表情が柔らかくなったり、前向きな言葉が増えたりするなどの変化を感じられると嬉しくなります(池田)

介護に興味がある人へメッセージ

日常的な気遣いが大切、それが介護につながります。資格はなくても働きながら、経験を重ね勉強していけば大丈夫(長谷川)

楽しい介護を目指して、ストレスをため込まない工夫を持って、笑顔と挨拶を大切にしながら働けるように(池田)

介護の仕事ってどんなものがあるの？

デイサービス(通所介護)のおしごと

(奈良ライフサポートデイサービス どれみ郡山・吉村さん、奥村さん、長谷川さん)

食事やお風呂など自分でするのが大変な人に対して、日帰りで食事・入浴・機能訓練などを施設で行います。

きっかけ

人と関わる仕事が自分には合っていると思って選んだ。実際、より良いサービスを心掛けながら、10年以上働いています。



ケアマネジャーのおしごと

(矢田の郷・池田さん)

介護を必要としている人に対し、ご自身の状態に応じた最適な介護サービスが受けられるように計画書を作成し、介護事業所などと連絡・調整を行います。

きっかけ

子どもが小学校に入り、少し時間ができたころヘルパーから始めました。仲間や先輩から影響を受け、一つずつステップアップして今の仕事に。



団塊の世代が75歳を超え、介護を必要とする人が増える一方で、介護職の人手不足は深刻です。介護は“大変な仕事”と言われがちですが、生活を支え、時に人生の最期に寄り添う、人との関わりの濃い必要不可欠な仕事でもあります。

正解が決まっていないからこそ、利用者さん一人ひとりに向き合い、信頼関係を築きながら、その人に合った“最適な支援”が求められる現場。そこで働く人たちは何を想い、向き合っているのか。“大変な仕事”の先にある介護の魅力をインタビューで追いました。

介護を通じて得られたもの

イベントのためにネットで調べたり、駅のチラシを見たり、日常生活の中でアンテナを張るようになった。利用者さんに喜んでもらえることを自然と考えるようになった(長谷川)

利用者さんと触れ合う中で、一人ひとりに人生が、人生の積み重ねがあると理解できるようになった。仕事を通じて信頼できる仲間に出会えたことも財産です(池田)



介護はすごく人間味のある仕事で、一人ひとりと関わりの濃さが魅力。色んな業種、世代の人、様々な人生に触れることができ、自分の成長にもつながっている(中田)

最初は「ちゃんと話せるかな」と不安もあったけど、今では、休み明けに「待ってたぞ」と言ってくれる利用者さんもある(安井)



家庭でのお手伝い、街中での声掛け、温かく見守る、一人ひとりができる関わりを持つことも“介護”です。そんな小さな経験の積み重ねから、まずはチャレンジしてください(中田)

まずは施設見学や体験に来てください。資格よりも気持ちの方が大事。まずは介護を知ってできることから始めてもらえたら(安井)



介護の仕事に興味のある人は各事業所へ
市内介護事業所一覧はQRコードよりご覧ください。



ホームヘルプ(訪問介護)のおしごと

(ヘルパーステーションやまと・中田さん)

利用者のご自宅を訪問し、入浴・排泄・食事などの介助だけでなく、掃除・洗濯・調理・通院介助などのお手伝いを行います。

きっかけ

おばあちゃん孝行ができなかった後悔から、「その分ほかのおじいちゃん、おばあちゃんに孝行しよう」と学生時代に思いました。



特別養護老人ホームのおしごと

(矢田の郷・安井さん)

高齢者施設で日常生活のサポートを行います。入浴・排泄・食事の介助・レクリエーション・外出などを行い、施設によっては夜間勤務がある場合も。

きっかけ

ボーイスカウトの活動で施設の職員さんや利用者さんと触れ合う機会があった。進路を考える時期だったこともあり、やってみようと思った。

